

教科名	技術	学年名	第1学年	年間授業時数	35時間	教科用図書名	開隆堂
教科の目標	<p>(1) 生活や社会で利用されている材料, 加工, 生物育成, エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに, それらに係る技能を身に付け, 技術と生活や社会, 環境との関わりについて理解を深める。</p> <p>(2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し, 解決策を構想し, 製作図等に表現し, 試作等を通じて具体化し, 実践を評価・改善するなど, 課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて, 適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>					学習の手引き	<p>○授業で使うもの 教科書・ワーク</p> <p>○授業の進め方 教科書の内容を中心に行い、プリントやワークを使い、理解を深める。</p>

	学習内容	ねらい	評価の観点・方法
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> 生物育成の技術 生活や社会と生物育成の技術 さまざまな生物育成の技術 生物育成の技術による問題解決 これからの生物育成の技術 	<ul style="list-style-type: none"> 生物育成に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得する 生活や産業の中で利用されている技術を知る 	<p>【生活や技術についての知識・技能】 生活や社会で利用されている技術についての基礎的・基本的な知識・技能を身に付け, 技術と生活や社会, 環境との関わりについて理解している。</p> <p>【生活を工夫し創造する能力】 生活や社会における技術に関わる問題を見出して課題を設定し, その解決を目指して, 技術を評価, 選択, 管理・運用, 改良, 応用している。</p>
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> 材料と加工の技術 生活や社会とエネルギー変換の技術 エネルギー資源の利用 電気の利用 運動の利用 エネルギー変換の技術による問題解決 これからのエネルギー変換の技術 	<ul style="list-style-type: none"> 材料と加工法について知る 材料と加工に関する技術を利用して製作品を製作する 	<p>【主体的に実践する態度】 進んで技術と関わろうとするとともに, 主体的に技術に関する知識・技能を身に付け, よりよい生活や持続可能な社会を構築するために適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとしている。</p>
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> 情報の技術 生活や社会と情報の技術 情報とコンピュータ 	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータについての基本的な知識をみにつける 	

教科名	技術	学年名	第2学年	年間授業時数	35時間	教科用図書名	開隆堂
教科の目標	<p>(1) 生活や社会で利用されている材料，加工，生物育成，エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付け，技術と生活や社会，環境との関わりについて理解を深める。</p> <p>(2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，製作図等に表現し，試作等を通じて具体化し，実践を評価・改善するなど，課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>					学習の手引き	<p>○授業で使うもの 教科書・ワーク</p> <p>○授業の進め方 教科書の内容を中心に行い、プリントやワークを使い、理解を深める。</p>

	学習内容	ねらい	評価の観点・方法
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 材料と加工に関する技術 エネルギー変換に関する技術 わたしたちの生活とエネルギー変換 電気エネルギーの利用 エネルギー変換の実際 制作品の構想と設計・製作 エネルギー変換に関する技術の評価・活用 プログラムによる計測・制御 	<ul style="list-style-type: none"> 図面の見方・書き方を知る エネルギーの変換方法を知る エネルギー変換に関する技術の適切な評価・活用について考える 	<p>【生活や技術についての知識・技能】 生活や社会で利用されている技術についての基礎的・基本的な知識・技能を身に付け，技術と生活や社会，環境との関わりについて理解している。</p> <p>【生活を工夫し創造する能力】 生活や社会における技術に関わる問題を見出して課題を設定し，その解決を目指して，技術を評価，選択，管理・運用，改良，応用している。</p> <p>【主体的に実践する態度】 進んで技術と関わろうとするとともに，主体的に技術に関する知識・技能を身に付け，よりよい生活や持続可能な社会を構築するために適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとしている。</p>
2 学 期		<ul style="list-style-type: none"> 機器の基本的な仕組みを知り、保守点検と事故防止ができる 製作品の組立て・点検ができる 	
3 学 期		<ul style="list-style-type: none"> コンピュータを利用した計測・制御の基本的な仕組みを知る 情報処理の手順を考え、簡単なプログラムが作成できる 	

教科名	技術	学年名	第3学年	年間授業時数	17.5時間	教科用図書名	開隆堂
教科の目標	<p>(1) 生活や社会で利用されている材料, 加工, 生物育成, エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに, それらに係る技能を身に付け, 技術と生活や社会, 環境との関わりについて理解を深める。</p> <p>(2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し, 解決策を構想し, 製作図等に表現し, 試作等を通じて具体化し, 実践を評価・改善するなど, 課題を解決する力を養う。</p> <p>(3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて, 適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>				学習の手引き	<p>○授業で使うもの 教科書・ワーク</p> <p>○授業の進め方 教科書の内容を中心に行い、プリントやワークを使い、理解を深める。</p>	

	学習内容	ねらい	評価の観点・方法
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ・情報に関する技術 情報通信ネットワークの利用 ネットワークと情報セキュリティ 情報モラルと知的財産 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報通信ネットワークにおける基本的な情報利用の仕組みを知る ・著作権や発信した情報に対する責任を知り、情報モラルについて考える ・情報に関する技術の適切な評価・活用について考える 	<p>【生活や技術についての知識・技能】 生活や社会で利用されている技術についての基礎的・基本的な知識・技能を身に付け, 技術と生活や社会, 環境との関わりについて理解している。</p> <p>【生活を工夫し創造する能力】 生活や社会における技術に関わる問題を見出して課題を設定し, その解決を目指して, 技術を評価, 選択, 管理・運用, 改良, 応用している。</p> <p>【主体的に実践する態度】 進んで技術と関わろうとするとともに, 主体的に技術に関する知識・技能を身に付け, よりよい生活や持続可能な社会を構築するために適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとしている。</p>
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 情報に関する技術とわたしたち 		
3 学 期			